

株主の皆様へ

2005年度のSBIホールディングスの連結業績は、全事業が極めて好調に推移し、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益のすべてにおいて過去最高を大幅に更新しました。過去3年間も上昇基調で推移してまいりましたが、特に2005年度の連結業績は飛躍的に上昇しました。現時点での好業績に留まらず、すべての部門で今後の一層の飛躍を予想させるような決算状況となりました。

連結売上高は前年度比で68.4%増の1,372億円となり、ついに1,000億円を突破し、経常利益も500億円を突破して前年度比で88.2%増の513億円となり、営業利益は、99.4%増の495億円となりました。いずれも過去最高を大幅に更新しました。

配当につきましては、好調な業績推移を踏まえて、普通配当として1株につき600円(合併記念配100円を含む)の配当を実施し、前年度の350円から大幅な増配となりました。

また、グループ内の再編や、SBIグループとシナジーを有すると考えられる有力企業との資本提携を行った結果、期末発行済株式数は前年度末比1.4倍の1,222万株に増加しましたが、1株当たり当期連結純利益は前年度比で1.4倍、同連結株主資本は前年度末比で1.5倍となり、今後も1株当たりの価値を高めながら、さらなる成長ステージに向けた飛躍を目指してまいります。

各事業セグメントにおいては、アセットマネジメント事業が極めて好調なファンドの運用パフォーマンスを背景に、出資者への分配金が増加し、それが新規ファンドへの資金調達を容易とし、さらなる運用規模の拡大に繋がるなど、正に好循

環サイクルに入っており、またブローカレッジ&インベストメントバンキング事業においては、SBIイー・トレード証券が圧倒的な競争優位性を有し、いよいよ競争の最終局面を迎えるに至りました。ファイナンシャル・サービス事業においては「貯蓄から投資への動き」「ブロードバンド化の進展」「制度改革」など、日本に起こりつつある大きな潮流が同事業にとっての良好な事業環境をもたらし、業績にさらなる好転がもたらされました。

2005年度において当社は、2005年7月にファンド運営事業等を分割し、当社の100%子会社であるSBIベンチャーズ株式会社(同月「ソフトバンク・インベストメント株式会社」に商号変更)に承継したことにより、SBIホールディングス(ソフトバンク・インベストメントより商号変更)を中核とする持株会社体制へ移行し、「第二の創業期」とも言える大きな飛躍の時を迎えました。

2005年10月には、住友信託銀行株式会社との間で、オンライン証券業務をはじめとするSBIグループ各社の事業と親和性の高い「新ネット銀行」の設立に関して基本合意し、設立準備を鋭意推進するとともに、2006年1月には、双方の競争力・収益力の強化につながる多面的な業務提携を締結いたしました。

2006年3月には不動産関連事業を手掛けるSBIパートナーズ株式会社並びに、比較・検索サイトの運営と金融サービスを提供するファイナンス・オール株式会社を吸収合併すると共に、SBI証券株式会社を株式交換により完全子会社化し、5つのコアビジネス体制への進化を強力に推進する事業

体制を構築いたしました。

SBIグループは、これまで主に金融業の分野において3つのコアビジネスである「アセットマネジメント事業」、「ブローカーレッジ&インベストメントバンキング事業」、「ファイナンシャル・サービス事業」を中核的の事業と位置づけて事業展開してまいりましたが、これらに加えて新たに「住宅不動産事業」と「生活関連ネットワーク事業」をSBIグループのコアビジネスと位置づけ、金融の枠を超えて投資家や消費者の皆様の豊かな生活の創造に貢献できる企業を目指して、新たなスタートをきりました。

また、2006年8月には、ソフトバンク株式会社との資本関係を完全に解消し、同社の持分法適用会社ではなくなりました。これによって今後は、株価の相関関係の解消や、より柔軟な財務戦略・事業戦略の展開が可能になるものと認識しております。なお、同社とは今後も双方折半出資による合併会社を中核として事業上友好な関係を維持していく方針であります。

SBIグループはかかる新体制のもと、お客様のために、投資家のために、より革新的なサービス、ビジネスの創出にため、顧客価値、株主価値、人材価値の総和たる企業価値の極大化を追求してまいります。



北尾吉孝

代表取締役執行役員CEO

プロフィール

- 1951年 兵庫県生まれ
- 1974年 慶應義塾大学経済学部卒業後、野村證券(株)に入社
- 1978年 英国ケンブリッジ大学経済学部を卒業
- 1989年 ワッサースタイン・ペレラ・インターナショナル社(ロンドン)常務取締役
- 1992年 野村證券(株)事業法人三部
- 1995年 孫正義氏の招聘によりソフトバンク(株)入社(常務取締役管理本部長)
- 1999年 ソフトバンク・ファイナンス(株)代表取締役社長に就任
- 2005年 SBIホールディングス(株)代表取締役CEOとして現在に至る

主な著書

- 『進化し続ける経営』(英語翻訳・John Wiley & Sons, Inc.より出版予定)
- 『Eファイナンスの挑戦Ⅰ』(中国語翻訳・商务印书馆出版)(韓国語翻訳・Dongbang Media Co. Ltd.)
- 『Eファイナンスの挑戦Ⅱ』(韓国語翻訳・Dongbang Media Co. Ltd.)
- 『「価値創造」の経営』(中国語翻訳・商务印书馆出版)(韓国語翻訳・Dongbang Media Co. Ltd.)
- (以上、東洋経済新報社)
- 『中国古典からもらった「不思議な力」』(三笠書房)(中国語翻訳・北京大学出版社)
- 『不変の経営・成長の経営』(韓国語翻訳・Dongbang Media Co. Ltd.)
- 『人物をつくる』(以上、PHP研究所)